



ゴマサバ 太平洋系群

主な漁業と漁期
未成魚・成魚 まき網：周年
棒受網：周年

生態

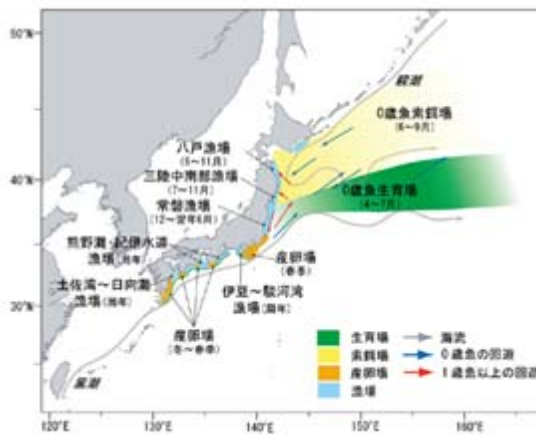
ゴマサバは日本周辺で漁獲される代表的な魚であり、サバ節や切り身、鮮魚と幅広く利用されています。

●分布・回遊

成魚は黒潮周辺域に主に分布しており、マサバに比べて暖水性、沖合性が強いとされています。静岡県海域に分布するゴマサバは太平洋系群に属しています。太平洋系群の0歳魚は親潮域も含めた北西太平洋の広域に分布しています。伊豆諸島周辺～北海道海域を回遊する群れもありますが、黒潮周辺の沿岸域に周年分布する群れも多く、一部の高齢魚は東シナ海まで回遊すると推定されています。

●産卵期・産卵場

産卵期：12～翌6月で、最盛期は年により変動します。
産卵場：主要な産卵場は伊豆諸島周辺海域や熊野灘～薩南海域です。



ゴマサバ太平洋系群の生活史と漁場形成模式図

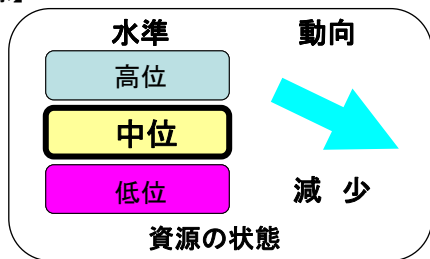
((国研)水産研究・教育機構資料)

●成長・成熟

寿命は6歳程度です。1年で20cmを超え、体重300g程度に成長します。その後成長速度は鈍化し、4年で30cm後半、体重600g程度に成長します。年により違いはありますが、2歳で成熟します。

漁業・資源動向

【資源】



- 2011年漁期以降、資源量は減少傾向を示しており、2018年漁期の資源量は12.4万トンです。
- 2019年漁期の資源評価では、太平洋系群の資源水準は引き続き減少傾向にあります。
- 2018年漁期の親魚量は5.3万トンで、最低限必要とされる5.0万トンを上回っていることから、資源水準は中位と推測されます。しかし、減少傾向にあることや、浮魚類は資源量の変動も激しいことから、今後の動向に注視し、適切な管理を行うことが必要です。

《国の資源評価へのリンクはこちら》

ダイジェスト版

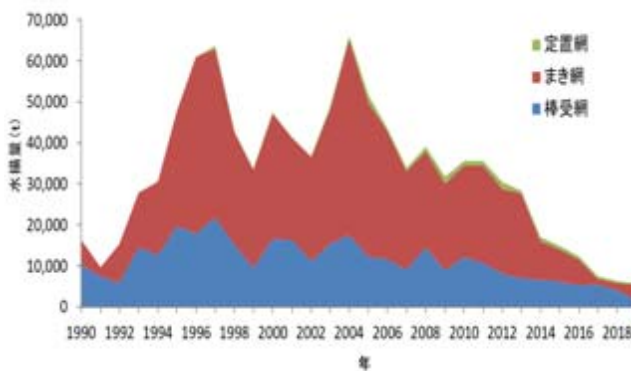
http://abchan.fra.go.jp/digests2019/html/2019_07.html

詳細版

<http://abchan.fra.go.jp/digests2019/details/201907.pdf>

【漁業】

- 静岡県では、主にまき網と棒受網により周年漁獲されます。棒受網漁船は主に三宅島周辺海域で操業します。
- 棒受網漁業は、集魚灯や撒き餌を使用して集めたゴマサバを、大きな網の中に誘導した後に網を揚げて漁獲します。棒受網漁船はゴマサバを漁獲するときは棒受網、マサバを漁獲するときはたもすくい網と使い分けて操業しています。



ゴマサバ漁業種類別水揚量推移

※4港(小川、沼津、静浦、伊東)合計

担当者の一言：サバ節や切り身等、加工用としても人気があります。旬は夏季から冬季と言われています。

問合せ先

静岡県水産・海洋技術研究所資源海洋科 054-627-1817